

くすりの正しい飲み方・使い方

お薬は、きめられた量・回数・飲み方を守らないと、効き目が十分に得られないばかりか、ときには体に有害な作用をおこす場合があります。お薬のことを正しく理解して、きちんと服用しましょう。

いつ飲めばよいのでしょうか？



「食後すぐ」という場合は、ふつう食後30分以内に飲みます。これは、食後でないとお薬が効きにくい場合もありますが、食後にしておくと、飲み忘れが少ないため便宜上そうしている場合もあります。また、空腹時より胃に対する負担も軽減できます。一般的には、食事を抜かした時でも、いつもの食事時間がきたら、飲んで下さい(多い目の水と一緒に)。しかし、例外もありますから、詳しくは医師又は薬剤師に相談して下さい。



「毎食前」という指示は、吐き気止めや、食欲増進のための薬の場合は食べる前に飲んでおいた方が食事がしやすくなるので、食事の前に飲みます。吸収されやすいように、特に食前に飲むように指示される薬もあります。「食前」は忘れることが多く、飲み忘れたら抜かしてしまう人がありますが、飲み忘れたら食後でも構いませんから飲んで下さい。



「食間」という指示は、これを食後2時間として表示していることも多いようです。このように、食間というのは、ふつう食後2時間くらいに飲みます。これも忘れる人が多いのですが、忘れた時は気が付いた時に飲むようにして下さい。

お薬には、その他ねる前に飲む場合や、決められた時間ごとに飲む場合などがあります。

飲み方は？

ふつう、コップに1杯の水で飲んで下さい。水なしで飲むと、食道や胃を荒らすことがあります。

ひどい場合には食道や胃に潰瘍を作ることもあります。

ミルクやお茶、コーヒー、アルコール飲料などで薬を飲まないで下さい。吸収が悪くなって効きが悪くなったり、逆に極端に早く吸収されて、効きすぎることもあるからです。

特別の指示がない限り、薬はかまずに飲んで下さい。特に1日1~2回飲めばよい薬(長時間効く薬)は絶対にかまないようにして下さい(かむと、効果の持続時間が短くなったり、効き過ぎる場合があります)



国立病院機構 奈良医療センター

〒630-8053 奈良市七条2丁目789

(医事係直通電話) 0742-45-1562

(代表電話) 0742-45-4591

近鉄橿原線 西の京駅下車

奈良交通バス六条山行き 奥柳(奈良医療センター前)バス停下車 徒歩5分

